

秋田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	英語 L L 演習 (3 M)
科目基礎情報					
科目番号	0005		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	一般教科 (人文科学系)		対象学年	3	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	For and Against Expressing Opinions and Exchanging Ideas (成美堂)、辞書：英和辞典、和英辞典（電子辞書可）、副教材：自製プリントの配布				
担当教員	杉浦 克哉,大西 絵理香				
到達目標					
1. 英語の母音、子音の発音の仕方を理解し、発音記号で示される単語の発音を自らも発音できる。 2. 英語検定準 2 級～ 2 級に合格できる英語力を身につける。 3. 英文で書かれたさまざまな意見を、「読む」「聞く」の技能で理解できる。 4. これまで学んだ語彙や文法を活用して、与えられたテーマについて自らの考えを英作文で表現できる。 5. 与えられたテーマについて自分の考えを英語で発表し、他者に伝えることができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	英語の母音、子音の発音の仕方を完全に理解し、発音記号で示される単語の発音を自らも発音できる。		英語の母音、子音の発音の仕方を十分に理解し、発音記号で示される単語の発音を自らも発音できる。		英語の母音、子音の発音の理解が不十分で、発音記号で示される単語の発音を自ら発音できない。
評価項目2	英検準 2 級～ 2 級に合格できる英語力を十分に身につけている。		英検準 2 級～ 2 級に合格できる英語力をほぼ身につけている。		英検準 2 級～ 2 級に合格できる英語力を十分に身につけていない。
評価項目3	英文で書かれたさまざまな意見を「読む」「聞く」の技能で完全に理解できる。		英文で書かれたさまざまな意見を「読む」「聞く」の技能で十分に理解できる。		英文で書かれたさまざまな意見を「読む」「聞く」の技能で十分に理解できない。
評価項目4	これまで学んだ語彙や文法を活用して、与えられたテーマについて自らの考えを英作文で誤りなく表現できる。		これまで学んだ語彙や文法を活用して、与えられたテーマについて自らの考えを英作文で十分に表現できる。		これまで学んだ語彙や文法を活用できず、与えられたテーマについて自らの考えを英作文で表現できない。
評価項目5	与えられたテーマについて自分の考えを英語で流暢に発表し、他者に伝えることができる。		与えられたテーマについて自分の考えを英語で発表し、他者に伝えることができる。		与えられたテーマについて、自分の考えを英語で発表し他者に伝えることができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	英語の音声の基本として、さまざまな母音、子音について学ぶ。音の違いを聞き分け、自らも発音できるようになることを目標とする。また、英語で意見交換できる力を目的に作られた教科書の学習を通して、英語で表現された他者の意見を理解し、自分の考えも表現するための演習を行っていく。				
授業の進め方・方法	演習形式で行う。初期の段階で、発音学習の基礎となる英語の各種母音、子音の発音の仕方を学ぶ。また、教科書を用いて現代社会で注目されている問題を把握し他者の考えを理解する力とともに、テーマに沿って自分の考えを英語で表現するスキルを身につける。英語を「聞く」「読む」技能に加えて、「書く」「話す」の技能も伸ばすための演習も行う。				
注意点	教科書、辞書、副教材を忘れずに授業に持参すること。到達目標に示された内容を意識して、積極的に授業に参加することが望ましい。 合格点は50点である。到達度試験は授業の時間内に行う。リスニングの試験は、授業の中で小テストとして行う。 期末総合評価＝（中間成績＋期末成績）／2				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 英語の発音について（母音、子音） 授業の進め方、評価の仕方を説明する		
		2週	英語の発音について（母音、子音） 各種母音、子音の発音のしくみについて学ぶ		
		3週	Unit 1 The Internet インターネットを通じた出会いについて考える		
		4週	Unit 2 NEETS 二つの問題について考える		
		5週	Unit 4 Environment 核エネルギーの使用について考える		
		6週	中間のまとめ 中間のまとめを行う		
		7週	到達度試験（前期中間） 授業時間内に行う		
		8週	試験の解説 中間試験の解説を行う		
	4thQ	9週	Unit 8 Depopulation 外国人労働者の受け入れについて考える		
		10週	Unit 9 Exanimations 評価方法としての試験のあり方について考える		
		11週	Unit 12 Robot care ロボットによる介護や看護について考える		
		12週	Unit 13 College 大学進学について考える		
		13週	期末のまとめ 期末のまとめを行う		

		14週	到達度試験（前期期末） 授業時間内に行う	
		15週	試験の解説 期末試験の解説、授業アンケート	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	小テスト	レポート	口頭発表	ポートフォリオ	合計	
総合評価割合	50	20	20	10	0	100	
基礎的能力	30	20	0	0	0	50	
専門的能力	20	0	20	10	0	50	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	